



公益社団法人日本図書館協会
非正規雇用職員に関する委員会
図書館基礎講座小委員会

「図書館基礎講座」の 作り方のてびき

目的地は同じ。育成は、チームで進む旅。

2026年5月作成



目次

0. はじめに	1
1. 図書館基礎講座とは	2
2. 具体的な基礎講座の作り方	4
(1) まずは、現地実行委員会をつくりましょう	5
(2) 開催時期を決めます	5
(3) 開催場所を探します	5
(4) 開催方式を決めます	6
(5) 科目を決めます	6
(6) 講師を探します	7
(7) 運営にかかわるお金	7
(8) 開催の後は報告書をつくりましょう	7
(9) 役割分担	8
(10) 開催までのスケジュール	9

【付録】事例と資料	11
< 1 > 図書館基礎講座 概要	12
< 2 > チラシ、申込フォームを作成します	13
< 3 > 図書館雑誌やメルマガの原稿を作成します	15
< 4 > 役割分担表を作成します	16
< 5 > アンケートを作成します	17
< 6 > 周辺マップもあると嬉しい	18
< 7 > 図書館基礎講座 企画書	19
< 8 > 後援依頼文書	21
< 9 > 事業報告書を作成します	23

※ご相談はこちらまで



0. はじめに

このたび日本図書館協会（以下、日図協）では、これまで全国各地で実施した図書館基礎講座の経験をもとに「図書館基礎講座の作り方のてびき」を作成しました。本冊子は、公共図書館で働く職員が、図書館職員として必要な基礎的知識を学ぶための研修を、地域や各館の状況に合わせて無理なく企画・実施できるようまとめたものです。「どのように準備すればよいか」「どのような内容が考えられるか」といった具体的なヒントを盛り込み、これから講座を始めたいと考える方々の後押しとなることを目指しています。

それぞれの地域、それぞれの図書館の実情に応じたかたちで、「図書館基礎講座」が新たな学びの場として広がっていくことを願っています。本冊子が、その第一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。



1. 図書館基礎講座とは

現在、公共図書館で働く職員の7割以上は、非正規雇用（委託・指定管理を含む）となっています。今後、正規職員の大幅な増加を見込むことは容易ではありません。だからこそ、雇用形態にかかわらず、現場を支えるすべての職員が安心して力を発揮できる環境づくりと、将来の図書館運営を担う人材の育成が、これまで以上に大切になっています。

一方で、多くの非正規雇用職員が、十分な研修機会を得にくい状況にあるのも事実です。自治体や委託・指定管理者による研修は少しずつ整いつつありますが、まだ十分とはいえません。また、日図協が実施するステップアップ研修などに参加したくても、時間的・経済的な事情から難しい場合もあります。

こうした背景を踏まえ、より多くの職員が無理なく参加でき、日々の実務にすぐに役立つ基礎的な知識を学べる場として、「図書館基礎講座」は2011年から各地で開催されてきました。東北、関東、東海、関西、中国四国、九州と、地域ごとに実施し、その土地ならではの課題にも目を向けながら、図書館業務の土台となる知識を整理する内容としています。



この講座は、知識を学ぶ場であると同時に、参加者同士がつながる場でもあります。立場や所属を越えて語り合うことで、新たな気づきや励ましが生まれ、「明日からまたがんばろう」と思える時間にもなっています。

近年では、非正規雇用職員の中にも、さらなる専門性向上を目指して研修や認定司書制度に挑戦する方が増えています。その第一歩として、基礎をあらためて学び直す機会への期待も高まっています。

日図協では、「図書館基礎講座」を、そうした思いを後押しする入口として位置づけています。地域の実情に合わせて開催できる講座ですので、ぜひ多くの地域で実施をご検討いただければ幸いです。



ひとことアドバイス

基礎的な研修は一度やればいい？

毎年異動や新人が来て、もう必要ないという状態にはなりません。

各講師の個性、視点による違いも新鮮で、内容は更新されていきます。

恒例の研修に組み入れてはどうでしょう。

2. 具体的な基礎講座の作り方


基礎講座開催までの流れ

STEP1
6ヶ月前
現地実行委員会の立ち上げ
開催日の決定
開催場所の決定：募集人数、設営・準備、後援協力の確認
講師選定開始、日時調整

STEP2
4ヶ月前
企画書作成、都道府県図書館協会（以下、県図書館協会）
などへ後援依頼

STEP3
3ヶ月前
チラシ作成
図書館雑誌掲載手配 →日図協
（開講2か月前の図書館雑誌に案内を掲載、雑誌発売前月15日頃
締切）

STEP5
2ヶ月前
メルマガ記事掲載手配 →日図協
チラシ送付手配 →日図協で印刷、各県に送付
（図書館雑誌発送と同時期に）

その他

SNS広報開始（無理のない範囲で）
申込受付・受付名簿等の作成
講師へレジュメ準備のスケジュール連絡
事前準備、当日の役割担当決定
開催後のアンケート集計、会計報告、事業報告など



すべての相談窓口は、図書館基礎講座小委員会事務局まで

ひとことアドバイス

やってみたい!と思ったら、まず事務局にご一報ください。（最終ページに連絡先があります）

(1) まずは、実行委員会をつくりましょう

- ・日図協の各地区選出理事、代議員、認定司書に入ってもらいましょう。
- ・県図書館協会、都道府県立図書館（以下、県立図書館）と連携ができればより開催しやすくなります。（会場確保や講師依頼にメリット）
- ・日図協会員でなくても実行委員になれるので、やってくれそうな人がいたらとりあえず声をかけてみましょう。
- ・委員会は集合会議だけでなく、アカウントがあればZoom開催もできます。（日図協のアカウントを使う場合は相談を。代表が打ち合わせして委員にはメールで共有する方法もあります）

(2) 開催時期を決めます

具体的な日程は開催場所の都合によります。

- ・科目数や講義時間にもよりますが、午前・午後で2日間の日程が一般的です。
- ・地域の図書館員が参加しやすい日程（休館日など）を考慮します。

(3) 開催場所を探します

県立図書館など無料で借りられる場所がありますか。

共催や後援、研修計画に加えてもらうことなどにより、無料で使用できる場合もあるので、県立図書館や県図書館協会の協力があると助かります。貸会議室など有料の場所で開催した例もあります。



ひとことアドバイス

- ・準備は早めにスタートするに越したことはありません。ひとつの自治体単独で始めるより、近隣県と協力するのがよいようです。その中で「次回はうちで」など持ち回り開催できるといいですね。
- ・参加者を増やすには地域独自の話題、特色を出したり、図書館見学を組み合わせたりする方法があります。参加したいと思ってもらえる工夫があるといいですね。

(4) 開催方式を決めます

対面方式、ハイブリッド方式（対面+オンライン）、録画配信方式などがあります。配信するには、機材手配や編集の負担、参加費徴収の手間がかかるため、対面方式がおすすめです。参加者交流の機会にもなります。

(5) 科目を決めます

基本は次の4科目です。（内容は基礎講座オンライン2025より）

科目	内容
図書館の基礎	図書館の理念的基盤や法体系における図書館の位置づけ、図書館員の倫理綱領、地域資料について学びます。
現代の図書館の動向	図書館を取り巻く社会や政策の変化を踏まえ、現在の図書館が果たす役割や課題について学びます。
図書館の自由	図書館が保証すべき自由について日本やアメリカの様々な事例を参照しながら、実践の在り方を学びます。
出版流通と資料選択	図書館で働くうえで重要となる出版界のしくみや現状を把握し、読者に本が届くまでを学びます。

講義時間は90分～120分程度です。

このほか、グループワークを取り入れたり、著作権、レファレンス、多文化サービス、読書バリアフリーなどのテーマや、地域限定講座（地域課題や実技研修の例あり）などを組み合わせたりすることができます。

(6) 講師を探します

地元の認定司書や実行委員のネットワーク、県立図書館職員を当たってみましょう。

(認定司書名簿：<https://www.jla.or.jp/committees/nintei/nintei-meibo/>)

過去の講義資料が日図協のサイト（委員会のページ）にあるので活用できます。

(「図書館の自由」の講師、講師依頼文書（出張依頼）については役割分担表参照)
講師がどうしても見つからなかったら、ご相談ください。

(7) 運営に関わるお金

予算計画書を作成します。

<収入>

- 受講者の資料費（参加費）1科目500円×人数

<支出>

- 講師謝金→日図協の規定あり
- 講師、スタッフの交通費
- 印刷費
- 通信費（レジュメ、チラシ発送）
- 消耗品費（用紙、インク代）
- 会場費
- その他

手話通訳・要約筆記をつけた例もあります。（約5万円）

必要に応じて自治体サービスの活用も含め検討してみましょう。

(8) 開催の後は報告書をつくりましょう

アンケート集計、会計報告、事業報告



ひとことアドバイス

- 有料の研修会では会場確保が難しい場合があるので、参加費ではなく資料費としています。
- 資料費は原則500円ですが、各地の事情で変更しても構いません。
- 講師の交通費と謝金以外は、収入から現地で精算します。不足が出るようなら事務局に相談を。
- 日図協基礎講座小委員会事務局はもちろん、共催、後援先にも報告は欠かせません。反省点など次に活かしていきたいですね。

(9) 役割分担

日図協基礎講座小委員会事務局と現地の役割分担の例

役割	担当
1. 会場確保	実行委員会
2. 講師派遣依頼	実行委員会 「図書館の自由」は自由委員会 依頼状・謝金は事務局
3. チラシ作成	実行委員会
4. チラシ印刷（データの場合は不要）	事務局
5. チラシまたはデータを配布	事務局より県立図書館へ送付 実行委員会
6. 雑誌・HP・メルマガ・SNS掲載	事務局（チラシから原稿を作成）
7. レジюме・配布資料印刷	事務局から現地へ送付
8. 申込受付・名簿作成	実行委員会（Googleフォームが便利）
9. 当日受付	実行委員会
10. 司会・進行	実行委員会
12. アンケート作成・集計	実行委員会
13. 会計	実行委員会



ひとつアドバイス

確保した会場の許諾があれば、日図協の出版物を会員価格（定価の20%引き）で販売できます。現物を手に取って購入できるチャンスになります。

(10) 開催までのスケジュール

最低でも6か月前から準備をはじめましょう。会場が図書館の場合はその図書館に勤めている人が実行委員のメンバーになってくれると作業が進めやすいです。

図書館以外の会場を借りる場合、6か月前から予約が取れるところは少ないのであらかじめいくつか候補をあげておきましょう。

入社～1ヶ月



ひとつアドバイス

2～3ヶ月目

日程調整の便利サイト

メールで日程のやりとりは結構大変。そんな時役に立つのは「伝助」や「調整さん」などの日程調整サイトです。

- 伝助<<https://www.densuke.biz/>>
- 調整さん<<https://chouseisan.com/>>

4ヶ月日以降



開催までのスケジュールチェックリスト

1

6ヶ月前

開催日時を決める。 ○月○日（ ）、○月○日（ ）

時間配分 講義1 10時開始（120分） 休憩1時間
講義2 13時開始（120分） 休憩10分
特別講座 15時10分開始（90分） ※16時40分終了

会場を決める。

図書館の場合、教育委員会の共催、後援または協力を打診する。（図書館の都合がいいように）
会場の大きさを確認（募集人数が決まる）、募集人数×500円×4科目で収入を見込む。
何時から準備可能か・会場設営はどのようにするか（プロジェクターやネット環境等）確認する。

昼食についての確認をする。

会場で食べることができるか、近隣に食堂やコンビニはあるかなどを確認。
（周辺マップがあれば配布する）

講師を決め、日程調整する。

2

4ヶ月前

企画書を作成、県図書館協会などに後援依頼する。（許可が下りるまで1～2ヶ月みてる）

チラシを作成する。

図書館雑誌記事への案内掲載手配をする。

3ヶ月前までに内容確定、2ヶ月前の図書館雑誌掲載を目指す。
（雑誌発売前月の15日ごろ締切）

3

2ヶ月前

日図協メルマガへの記事掲載手配をする。（図書館雑誌発送と同時期になるように）

チラシ発送の手配（日図協で印刷、各県に送付）→送付枚数と送付先を日図協に伝える。

SNSでの広報を開始する。（SNSで発信できる人がいなければ無理しないでください。）

事前準備と当日の役割分担を決める。

申込受付・受付簿を作成する。

講師にレジユメの準備スケジュールを伝える。

例：実施日が月曜日の場合前週月曜日に締め切り、その週の金曜日に発送（関西）
開催日の10日前までに日図協事務局に印刷物のデータを送って印刷してもらう（九州）

4

基礎講座開催

開催後、アンケートの集計をする。会計報告、事業報告を作成する。

作成した報告は事務局、共催・後援団体に提出する。

【付録】事例と資料

- ・ 上司への説明、会場借用のための資料として、概要をご活用ください。
- ・ 県図書館協会等に後援をお願いするために、企画書を作成します。
チラシや広報をするときもこれを参考にしています。以下は関西の企画書、報告書の例です。
- ・ 会場周辺図、役割分担表は九州の例です。
- ・ 資料は最終ページのサイト、2次元コードからダウンロードできます。
使える部分はコピーでお使いください。

Together
We Can!



ひとことアドバイス

県立図書館等に会場提供してもらった場合は、事前の挨拶や打ち合わせ、講師、当日の手伝いの他、館長挨拶をしてもらうなど、連携ができるよう努めましょう。

< 1 > 図書館基礎講座 概要

基礎講座 概要

2026年 月 日

日本図書館協会

非正規雇用職員に関する委員会

1. 事業名 図書館基礎講座

2. 目的

公共図書館に勤務する職員が、雇用形態を問わず、図書館業務に必要な基礎的知識を体系的に習得する機会を提供し、職員の基礎的能力の向上を図ることにより、図書館サービスの質の維持・向上に資することを目的とする。

3. 背景・課題

近年、公共図書館を取り巻く環境は変化しており、自治体政策における役割の多様化や利用者ニーズの高度化・複雑化が進んでいる。このような状況の下、図書館職員には、雇用形態を問わず、業務に必要な基礎的知識および一定の専門性が求められている。一方、公共図書館に勤務する職員の多くは非正規雇用（委託・指定管理を含む）であり、基礎的知識を体系的に学ぶ研修機会は十分とは言えない。自治体や委託・指定管理者、日本図書館協会による研修も実施されているが、時間的・経済的制約等により、すべての職員が継続的に受講できる状況には至っていない。

4. 対象 公共図書館に勤務する職員（雇用形態、所属、経験年数を問わない）
図書館に関心のある方どなたでも

5. 事業内容

図書館業務に従事する職員が共通して習得すべき基礎的知識について、理念を中心に学ぶ研修講座を実施する。

主な内容は以下のとおりとする。但し、必要に応じて変更することができる。

図書館の基礎
現代の図書館の動向
図書館の自由
出版流通と資料選択

6. 実施方法

本事業は、日本図書館協会および非正規雇用職員に関する委員会の協力のもと、開催地域の実行委員会形式で実施する。

講座の内容および実施方法については、地域および開催館の状況を踏まえて柔軟に構成する。

講師

・認定司書等現地のネットワークを活用する

時間構成

・1科目 120分程度 1日2科目×2日間

事前申込制

収入：受講者の資料費（参加費）1科目 500円×人数

支出：（講師謝金は規程によりJLAが負担）

交通費・消耗品等は収入より賄う

会場費

<2>チラシ、申込フォームを作成します

図書館がメッチャ楽しくなる

図書館基礎講座

2024 in Kansai

JLA 日本図書館協会
Japan Library Association

公益社団法人日本図書館協会
〒104-0033
東京都中央区新川 1-11-14
TEL 03-3523-0811
FAX 03-3523-0841

9月2日(月)

第 1 講 10:00~12:00 「図書館の基礎」 講師：相宗大督氏（大阪市立城東図書館・日本図書館協会認定司書）
第 2 講 13:00~15:00 「出版流通と資料選択」 講師：竹田芳則氏（奈良大学・日本図書館協会認定司書）
特別講座 1 15:10~16:40 「“ほんでほんで”と笑顔あふれる温かみのある綾部市図書館」 講師：生駒彩子氏（綾部市図書館前館長）

10月7日(月)

第 3 講 10:00~12:00 「図書館サービスの動向」 講師：井辺裕二氏（和歌山県立図書館・日本図書館協会認定司書）
第 4 講 13:00~15:00 「図書館の自由」 講師：天谷真彦（守山市立図書館・日本図書館協会認定司書 日本図書館協会図書館の自由委員会）
特別講座 2 15:10~16:40 「これを知れば図書館はもっと楽しくなる」 講師：喜多由美子氏（八尾市立山本図書館）

**図書館で働く
みんなの講座です！**

雇用の形や仕事の内容を問わず、図書館で働くみんなの講座です。
学びなおしを考えている人も大歓迎です。

会場

綾部市図書館
京都府綾部市青野町西馬場下 35 番地の 1
(JR綾部駅下車北口 徒歩1分)
駐車場あり

定員

30名(先着順受付)

資料費

1科目 500円(税込み)
(特別講座は無料)

申込み

下記を明記の上、メールでお申し込みください。

- ①お名前
- ②電話番号
- ③所属
- ④受講希望科目

申込先
jilakiso@gmail.com

申込を受理したら必ず確認メールを送ります。3日以上たっても連絡のない場合はお問い合わせください。

問合せ

日本図書館協会（星川・藤田・桑）
電話 03-3523-0816
e-mail kikaku@jla.or.jp



綾部市図書館

主催：公益社団法人日本図書館協会 図書館基礎講座関西地区実行委員会
協力：綾部市図書館
後援：綾部市教育委員会・京都府図書館等連絡協議会・大阪公共図書館協会・滋賀県公共図書館協議会・奈良県図書館協会公共図書館部会・兵庫県図書館協会・和歌山県公共図書館協会

申込はメールでお願いするか、申込先をグーグルフォームで収集する方法もあります。



基礎講座2026 in 関西 参加申し込み

雇用のかたちや仕事の内容、若者男女を問わず、関西圏で働く人みんなのための講座です。関西圏の理念や社会的役割など、公共図書館の現場に役立つ基礎知識を学びます。
主 体：日本図書館協会関西圏基礎講座関西地区実行委員会
問合せ：***@***

yumiko423@gmail.com [このイベントを印刷/転送](#)

共有なし

*** 必須の質問です ***

申込者氏名 *

回答を入力

所属 *

回答を入力

連絡先メールアドレス *

回答を入力

受講希望科目

- 第1講「図書館の基礎」(〇月〇日 10時～12時)
- 第2講「図書館サービスの動向」(〇月〇日 13時～15時)
- 特別講座1「*****」(〇月〇日 15時10分～16時40分)
- 第4講「出版関連と資料選択」(〇月△日 10時～12時)
- 第5講「図書館の自由」(〇月△日 13時～15時)
- 特別講座2「*****」(〇月△日 15時10分～16時40分)

<3>図書館雑誌やメルマガの原稿を作成します

<参考>JLA メールマガジン 第1237号より抜粋

○図書館基礎講座 2025in 関西

雇用のかたちや仕事の内容、老若男女を問わず、図書館で働く人みんなのための講座です。

図書館の理念や社会的役割など、公共図書館の現場に役立つ基礎知識を学びます。

【主催】日本図書館協会 図書館基礎講座関西地区実行委員会（非正規雇用職員に関する委員会 図書館基礎講座小委員会）

【日時】2025年9月8日（月）・10月6日（月）10:00-16:40

【会場】豊中市立岡町図書館(阪急宝塚線「岡町駅」下車徒歩4分)

【内容】9月8日=1 (10:00-12:00) 図書館の基礎 (相宗大督*: 大阪市立平野図書館), 2 (13:00-15:00) 出版流通と資料選択 (竹田芳則*: 奈良大学), 特別講座1 (15:10-16:40) 豊中市立図書館のこれまでとこれから (仮) (西口光夫: 豊中市立岡町図書館館長)

10月6日=3 (10:00-12:00) 図書館の自由 (天谷真彦*: 守山市立図書館, 日本図書館協会図書館の自由委員会), 4 (13:00-15:00) 図書館サービスの動向 (井辺裕二*: 和歌山県立図書館), 特別講座2 (15:10-16:40) できることからやってみよう! 障がい者サービス (佐野真奈美: 吹田市立山田駅前図書館館長)

*は日本図書館協会認定司書

【資料費】1科目500円(税込み・特別講座は無料)

【定員】各日30名(先着順)

【申込方法】1名前, 2所属, 3電話番号(当日連絡可能なもの), 4受講希望科目を明記の上, メールで下記まで

【申込先】e-mail: jlakiso★gmail.com (★を@に置き換えてください)

【受付開始】7月16日(水)

【問合せ先】日本図書館協会 星川・秦 電話 03-3523-0816

※最新情報はこちらをご覧ください。 <https://www.facebook.com/jlakisokoza/>



<4>役割分担表を作成します

図書館基礎講座 in 九州(鳥栖) 当日の役割分担等

1. 当日の役割分担

①1月19日(月)

- ・講師(3名)
- ・会場設営 実行委員会全員
- ・司会(1名)
- ・挨拶(1名)(主催者)
- ・受付(3名)
- ・販売(2名)
- ・会計(1名)

②2月2日(月)

- ・講師(4名)
- ・会場設営 実行委員会全員
- ・司会(1名)
- ・挨拶(1名)(主催者)
- ・受付(3名)
- ・販売(2名)
- ・会計(1名)

2. 当日までに準備しておくこと

- ・広報 図書館雑誌の掲載原稿、チラシの原稿は日本図書館協会事務局へ送付済、九州内の県立図書館への管内市町村立図書館への周知依頼済
- ・張り紙 会場案内、受付、書籍販売、講師名等を用意(〇〇)
- ・受付名簿 実行委員会受付分を用意(〇〇)、受付用のテーブルは2つ用意
- ・筆記用具 実行委員会で用意(〇〇)
- ・レジュメ 当日のスケジュール表、メモ用、アンケートのQRコード(〇〇)
⇒協会事務局へデータ送付、印刷(1月9日までに依頼)
- ・アンケート グーグルフォームのQRコードの印刷・集計(〇〇)
- ・釣銭(受付用、書籍販売用) 会計が用意(〇〇)
- ・領収書(受付用、書籍販売用) 会計が用意(〇〇)
- ・交通費、会計が用意(〇〇)
- ・パソコン (〇〇、〇〇)
- ・プロジェクター 1/19 は△△町立図書館(〇〇)が準備、2/2 は〇〇が準備
- ・マイク設備 1/19 は〇〇が準備、2/2 は〇〇が準備
- ・講師資料 協会事務局へデータ送付、印刷(1月19日分は1月9日までに各講師が依頼、2月2日分は1月23日までに各講師が依頼)
- ・鳥栖市立図書館への依頼 日本図書館協会からの荷物の預かり、日本図書館協会への宅配便の発送

<5>アンケートを作成します

図書館基礎講座 2025 in 関西アンケート (2025 年●月●日)

1. この講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

a) JLA ホームページ	b) JLA メールマガジン	c) 図書館雑誌
d) チラシ	e) Facebook	f) メーリングリスト
g) その他 (具体的に :)		

2. 参加のきっかけを教えてください。(複数回答可)

a) 講師が良いから	b) テーマが良いから	c) 研修機会がすくないから
d) スキルアップしたいから	e) 参加費が安価だから	f) 上司・同僚に勧められたから
g) 休務日だから		
h) その他 (具体的に :)		

3. 現在図書館に勤務しておられる方は、どんな立場で働いていますか。

a) 自治体直接雇用の常勤職員	b) 自治体直接雇用の会計年度任用職員	c) 自治体直接雇用の臨時職員
d) 民間会社・法人雇用の正社員	e) 民間会社・法人雇用の契約社員	
f) 民間会社・法人雇用のパート・アルバイト社員		

4. 資格の有無を教えてください。(複数回答可)

a) 司書資格あり	b) 司書補資格あり	c) 司書教諭資格あり
d) いずれもない		

5. 図書館の通算勤務歴を教えてください。

a) 勤務経験なし	b) 1年未満	c) 1~4年
d) 5~10年	e) 10年以上	

6. 講義内容についての感想やご意見をお聞かせください。(受講していない科目には斜線をいれてください)

第1講 (図書館の基礎)

第2講 (図書館サービスの動向)

特別講座

7. 講座全体についての感想やご意見をお聞かせください。

ありがとうございました。
※回答フォームを利用される方はこちらをご利用ください。

2次元
コード

紙で配布する方法もありますが、Googleフォームを利用することもあります。
また、当日配布したものにQRコードを印刷しておき、どちらか選ぶ方法もあります。
Googleフォームだと、簡単に集計ができるので、作業が軽減できます。

<6>周辺マップもあると嬉しい

※このMAPは参考例です。九州基礎講座開催時の内容であり、現在の状況とは異なります。



<7>図書館基礎講座 企画書

2025年5月日

「図書館基礎講座 2025in 関西」企画書

公益社団法人 日本図書館協会
 図書館基礎講座関西地区実行委員会
 実行委員長 ○ ○ ○

公共図書館で働く職員の7割以上は、非正規雇用職員（臨時・非常勤・任期付き職員、契約・派遣社員など）で占められています。自治体の直接雇用か間接雇用かを問わず、これらの職員が十分な研修を受けているとはいえません。そして、多くが図書館サービスの理念や役割などについての基礎的な知識を持たないままに図書館の第一線で働かざるをえない状況にあります。

そこで、日本図書館協会政策企画委員会は、雇用形態や職務内容を問わず、図書館で働く方々が簡便でかつ安価に図書館の基礎的な知識を身につけることができる図書館基礎講座を2010年度から開催してきました。2020年度より非正規雇用職員に関する委員会の所管で開催しています。

地方での開催を求める声にこたえ、関西地区では、2012年度から域内各府県で講座を開催してきました。全国各地でもオンライン講座、九州などで多くの参加者を得ています。

記

- 1 講座名 図書館基礎講座 2025 in 関西
- 2 開催日 2025年9月8日（月）、10月6日（月）
- 3 会場 ●市立●図書館
561-0884 大阪府豊中市●町3-4-2（阪急宝塚線「岡町駅」下車徒歩4分）
- 4 目的 公立図書館で働く非正規雇用職員等を中心とする研修機会の少ない人に、図書館の理念や役割など図書館サービスの基礎的な知識を習得する機会を提供するとともに、市民の図書館への理解を深めることにより、図書館振興に寄与することをめざす。
- 5 対象 雇用区分や職務内容を問わず図書館で働く人、図書館協議会委員、図書館に関心を持つ人
- 6 科目内容と研修講師
2025年9月8日（月）
第1講 図書館の基礎 10:00～12:00
講師：○○○○（○○市立図書館・日本図書館協会認定司書△△△△）
（昼食休憩 12:00～13:00）
第2講 出版流通と資料選択 13:00～15:00
講師：○○○○（○○市立図書館・日本図書館協会代議員）
（休憩 15:00～15:10）
特別講座1 「○○市立図書館のめざすもの」 15:10～16:40
講師：○○○○（○○市立図書館）

2025年10月6日（月）
第3講 図書館サービスの動向 10:00～12:00
講師：○○○○氏（○○県立図書館・日本図書館協会認定司書△△△△）
（昼食休憩 12:00～13:00）
第4講 図書館の自由 13:00～15:00
講師：○○（日本図書館協会図書館の自由委員会）
（休憩 15:00～15:10）
特別講座2 [読書バリアフリー関連] 15:10～16:40
講師：○○（○○市○○）

7 費用 資料費 1科目につき500円（特別講座は無料）

8 主催 公益社団法人日本図書館協会 ○○市教育委員会

9 後援（予定）

大阪公共図書館協会

豊中市教育委員会

滋賀県公共図書館協議会

京都府図書館等連絡協議会

兵庫県図書館協会

奈良県図書館協会公共図書館部会

和歌山県公共図書館協会

10 実行委員会

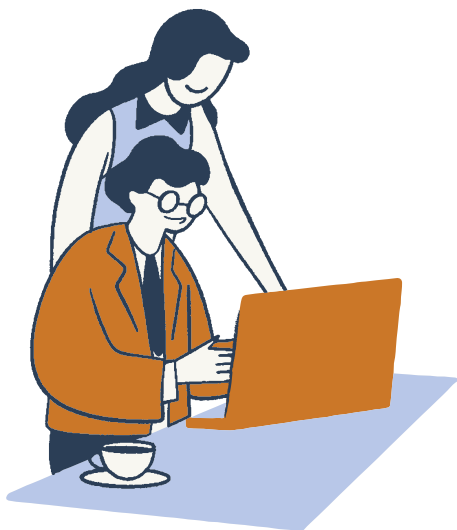
委員長 ○○○○（日本図書館協会理事）

委員（氏名の五十音順 *は日本図書館協会認定司書）

○○○○*（○○市立図書館）

△△△△（○○市図書館・日本図書館協会代議員）

□□□□（○○市図書館）



<8>後援依頼文書

2025年5月 日

〇〇県図書館協会
会長 〇〇 〇〇 様

公益社団法人 日本図書館協会
図書館基礎講座関西地区実行委員会
実行委員長 〇〇〇〇

「図書館基礎講座 2025 in 関西」の後援名義借用依頼

貴協会におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、当実行委員会では標記講座を別紙企画書のとおり、対面による2日間の講座として開催する予定です。
つきましては、下記のとおり貴協会ご後援名義をお借りしたく、ご依頼申し上げます。

記

1. 事業名 図書館基礎講座 2025 in 関西
2. 開催日 2025年9月8日（月）、10月6日（月）
3. 目的
公共図書館で働く非正規雇用職員を中心とする研修機会の少ない職員に、図書館の理念や役割など図書館サービスの基礎的知識を習得する機会を提供するとともに、市民の図書館への理解を深めることにより、図書館振興に寄与することをめざす。
4. 会場
〇〇市立図書館
577-0827 大阪府〇〇市△△1-2-3
5. 資料費 1科目 500円（特別講座は無料）
6. 依頼内容
後援名義の借用、企画全般への協力
7. 団体名
公益社団法人 日本図書館協会 図書館基礎講座関西地区実行委員会
(事務局) 日本図書館協会 企画調査部 (担当：〇〇)
〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14
TEL：03-3523-0816
FAX：03-3523-0841
e-mail：kikaku@jla.or.jp

<9>事業報告書を作成します

後援団体に送付します。

団体によっては決まった様式に記載するだけのところがあります。

〇〇図書館等連絡協議会后援事業実施報告書

〇〇図書館等連絡協議会会長 様

申請者（団体名）

公益社団法人 日本図書館協会

図書館基礎講座関西地区実行委員会

住所 東京都中央区新川 1-11-14

代表者氏名 実行委員長 〇〇〇〇

令和 7 年 5 月 28 日に承認されたことは、下記のとおり事業が終了しましたので、報告します。

記

- 1 事業名 図書館基礎講座 in 関西 2025
- 2 実施年月日 令和 7 年 9 月 8 日（月）、10 月 6 日（月）
- 3 実施場所 〇〇市立岡町図書館
- 4 参加人数 9 月 8 日 35 名、10 月 6 日 33 名
- 5 事業の概要 別添チラシのとおり（当日配布物を同封）

6 事業の成果

今回の基礎講座の受講者から頂いたアンケートより有意義な 2 日間の講座となった。

○普段の業務で忘れてしまいがちな図書館の基礎について学ぶことができた。

○「図書館は何のためにあるか」自分なりに考え伝えることができるようにしておきたいと思った。

○基本に立ちかえることの大切さに気付かされました。図書の流通についての詳しい話が伺えてたいへん興味深かった。

○司書をはじめ 4 年目になりますが、転勤先の研修では勉強できない内容ばかりで、大変よかった。

○たくさんのデータを基にこれまでの図書館とこれからの図書館について考えることができました。

○AI や社会的方節など、今後の課題についても考える機会となりました。

○当事者の利用を増やすには、図書館のほうからアクションを起こさなくては安心して利用していただけないということに気づきました。等々

◎受講生の各自現場での活躍が期待される。来年への基礎講座への期待にも応えていきたい。

- 7 その他 来年度も〇〇府内での実施を計画しています。
引き続きのご協力をお願いいたします。

ご相談はこちらまで

基礎講座を通じて、現場が変わり、チームが育つ。

そんな育成の仕組みづくりの必要性を感じていても、ゼロから立ち上げるのはハードルが高いかもしれません。前例をベースにしたてびきで、まずは始めてみませんか。小さなことでも、お気軽にご相談ください。



公益社団法人日本図書館協会

非正規雇用職員に関する委員会 図書館基礎講座小委員会 事務局

☎ お電話でのお問い合わせ

03-3523-0816 (平日 10:00~17:00)

✉ メールでのお問い合わせ

kikaku@jla.or.jp



Webサイト

<https://www.jla.or.jp/committees/hiseiki/kisokouza-2/>



所在地

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

